

保護者 各位

北海道科学大学高等学校  
校長 橋本達也

## 新型コロナウイルスによる臨時休校の延長について(ご連絡)

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした臨時休校措置について、ご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。新学年開始早々というタイミングであり、生徒達は落胆や戸惑いを抱えながら日々を暮らしているものと受け止めております。皆様におかれましても、お子様の安定した生活を維持するためにご苦労されていることと存じます。

昨日付けで、北海道教育委員会から休校期間を5月10日まで延長することを求める通知がありました。本校といたしましても、北海道における感染拡大が一向に収束する気配が見えない中で、命と安全を守るためには休校要請に従うべきと判断いたしました。

休校が更に延長される可能性も指摘されております。生徒の学習や日常生活の安定に向け、今後も可能な限りの対応を進めて参ります。5月11日(月)以降については明確な通知が出され次第、速やかに決定して連絡させていただきます。

特に、下宿生の保護者の皆様は、登校開始の日程がいつになるのかご心配のことと存じます。少しでも早い連絡に努めますが、決して無理をなさらず、ご心配なことがありましたらご連絡をお願いいたします。

生徒の心身の健康や生活の状況を、学校としても心配しております。万一、お子様の健康状態に変化やご心配がありましたら、必ず学校まで連絡をお願いいたします。皆様とのコミュニケーションを大切にしながら対応して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 《お問い合わせ・連絡先》

- ・ 学校としての対応策全般についてのご質問… 学校代表電話 011-821-0173  
緊急携帯電話 080-1863-7166
- ・ お子様の体調や家庭学習等の日常生活に関する連絡…各担任まで

## 生徒諸君へ

新年度の休校が3週間目を迎えました。毎日、どんな生活をしているのでしょうか。担任や部活動顧問はもちろん、私も心配しています。「新年度を迎えて心機一転！」というタイミングでした。不安やストレスを感じている人も多いでしょう。すでにホームページやクラッシーで伝えたように、スクールカウンセラーは、**休校期間中もみんなからの相談に対応できるように準備し、すでに面談も実施しています**。特別な理由は必要ありません。誰かに相談することで、新たな気付きが生まれる可能性があります。遠慮せず連絡してください。

インターハイに続き、地区・全道の高体連大会の中止も決まりました。「この気持ちを何処にぶつければいいのか」と思っている人も多いでしょう。我々も本当に悔しい。誰のせいでもないからこそ、**気持ちの整理がつきにくいと感じます**。ふと、平成24年春の甲子園での選手宣誓を思い出しました。宣誓は被災地である石巻工業高校の主将が担当し、「人は誰でも、**答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくて辛いことです**。」と語りました。本当にそうだと思うし、そんな途方もない悲しみから立ち直ろうとしてきた被災地の人々を思うと、「コロナにめげてる場合じゃないな」と思いたいものです。世界に目を向ければ、コロナの蔓延以前に、明日に命をつなぐことが困難な戦争や飢餓におびえている人がたくさんいます。我々はまだ、自分次第で自分の人生を動かせる。そんな幸せな立場にいることを忘れてください。

2・3年生には何度も言ってきたことですが、困難な環境や日常が失われた時こそ、発想の転換が大切です。「何が出来ないか。何が無いのか」を数え上げるよりも、「**何が出来るのか。何が自分の手元にあるのか**」を考える、**ポジティブな発想こそが前進を生み出します**。学校は休校し、時間が止まっているかのように感じてしまいがちですが、確実に君達の高校生活は時を進めています。高校生活の終わりが来て、次の新しい人生に進むべき時を迎えます。その時に、「**色々あったけど、あの時に自分なりに頑張ったことが、この結果につながったな**」と思ってほしいのです。

1年生には急遽、iPadを配送で届けることにしました。もう届きましたか？早速起動してみましたか？手前味噌ですが、「一刻も早くみんなに届けて休校生活を変化させてあげたい」という教職員の熱い気持ちで作業が一気に進みました。しかし、**その気持ちが生かされるかどうかは君達次第です**。高校での新しい勉強のガイダンスをほとんど出来ていない中での取り組みとなりますが、良い意味での遊び心を持ちながら、高校生としての勉強に慣れていってください。

学校でみんなの顔を見る日を楽しみにしています。

**Keep on Smiling !**